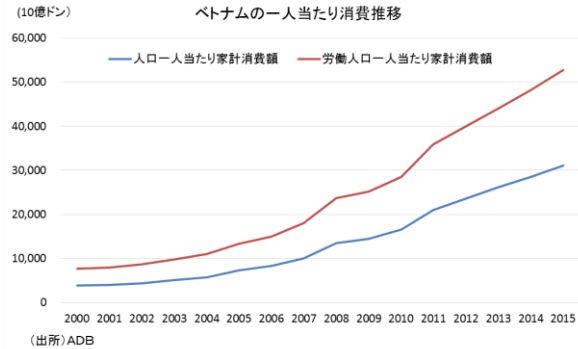


ベトナムの食品産業

お問い合わせ フリーダイヤル:0120-411-965
 ホームページアドレス: <http://www.news-sec.co.jp>

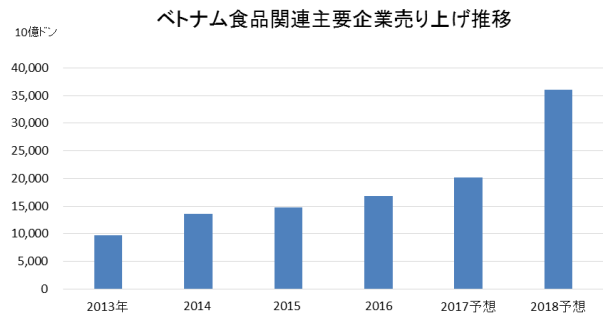
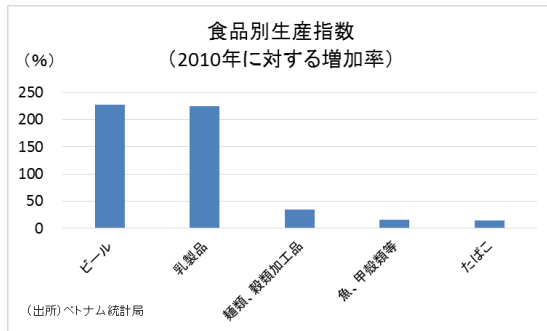
＜生活水準の向上と食品産業の成長＞

発展途上国、特にアセアン諸国においては国内所得水準の上昇に伴い、食品、消費関連産業が順調に伸びている。消費水準が上がるにつれ食生活も変化してきている。ベトナムでは都市部を中心にビール、乳製品などの消費が増え、その生産量は過去7年間で倍増している。食品業界においてアイスクリーム、食用油のトップクラスのシェアを持つキド・グループによると都市部を中心にアイスクリーム、ヨーグルト、オリーブオイルなどの売り上げが伸びていると発表している。アイスクリーム、ヨーグルト、冷凍食品部門の売り上げは2014-2016年の間に12%の成長を遂げたと発表している。

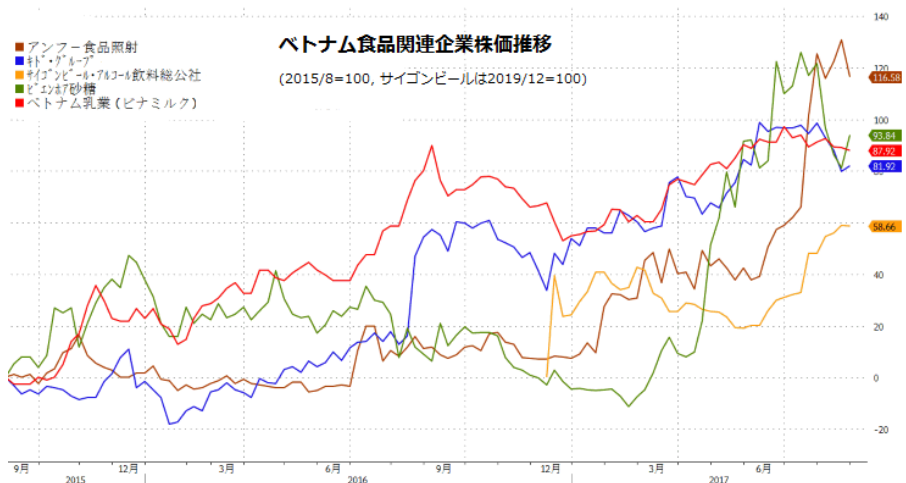
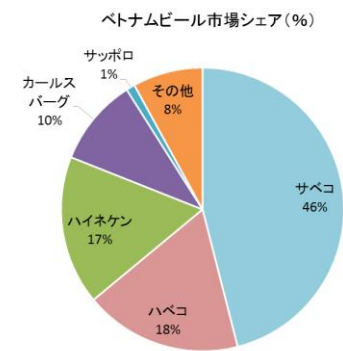


ビール消費も順調に伸びており、2011年～2015年の間に年率8.6%のペースで成長した。ビールは輸入ブランドの伸びが目立っているがベトナムの国内ブランドのメーカーであるサベコ（サイゴンビール）とハベコ（ハノイビール）も半分以上のシェアを維持している。オーストラリアのビール大手企業アンハイザー・ブッシュ・インベブ（ABインベブ）はサベコ、ハベコの株式取得の意向も報じられており、ベトナムのビール市場に対する積極的な見方が推察される。

ベトナムの一人当たり消費額は5年前に比べるとほぼ倍増しており、今後も生活消費財等の需要拡大が見込まれる。



(注)アンファー食品照射、キドグループ、サイゴンビール、ピエンホア砂糖、ピナミルクの5社平均企業により決算期が異なるため過去12ヶ月の売り上げから算出。2018年予想値はキドグループ、サイゴンビール、ピナミルク3社の平均値
 (データ) Bloomberg



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】
 加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

News

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘、投資判断材料の提供を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、コントロールリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式へのご投資には、取扱手数料【対面取引の場合】約定代金×2.16%(最低手数料800,000ドン)、が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものと